

平成22年度上半期業績のご報告

日本海しんきん 半期開示レポート

日本海信用金庫の平成22年度上半期(平成22年4月1日～9月30日)における経営情報について、お知らせします。

経営方針

1. 「日本海信用金庫ブランド」の確立

- 顧客満足度(CS)の向上
- 社会的責任(CSR)への対応
- 法令遵守(コンプライアンス)の徹底

2. 「絆の経営」の実践

- 地域再生、活性化への積極的な支援
- 地域課題解決への協力
- 地域産業再生への支援
- 魅力ある商品、サービスの開発

3. リスク管理体制の強化とガバナンスの向上

- 統合的リスク管理への適切な対応
- 内部統制機能及びガバナンスの向上

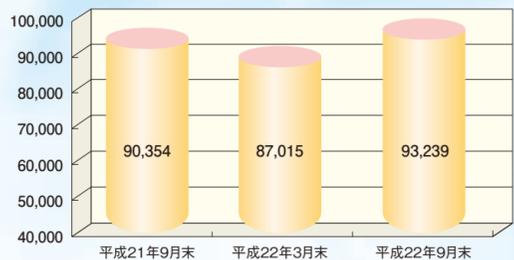
4. 人材の育成

- 人間性あふれる優れた人材の育成
- 「人間力」豊かな課題解決型金融を担う人材の育成

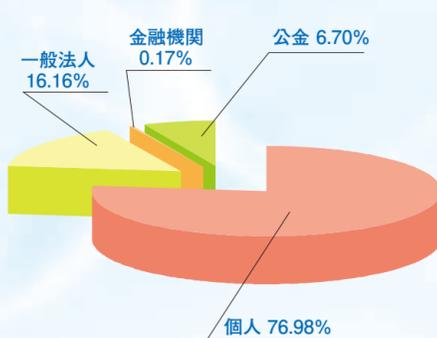
I 預金残高推移・内訳

地域のお客様のご支援により、預金は前年同月比2,884百万円増加の93,239百万円と堅調に推移しました。また、預金残高のうち個人預金が76.98%、一般法人預金が16.16%を占めております。

●預金残高の推移 (単位:百万円)



●預金者別残高の割合



(単位:百万円)

	平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末
個人合計	71,118	71,890	71,772
法人合計	19,236	15,124	21,467
うち一般法人	14,282	14,316	15,065
うち金融機関	224	120	154
うち公金	4,729	687	6,246
預金積金合計	90,354	87,015	93,239

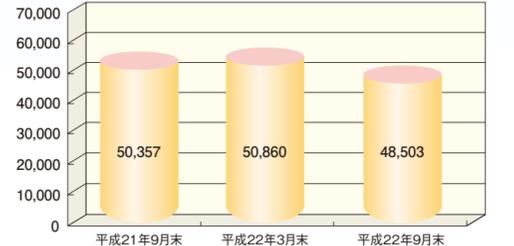
II 貸出金残高推移・内訳

貸出金は前年同月比1,853百万円減少の48,503百万円となりました。

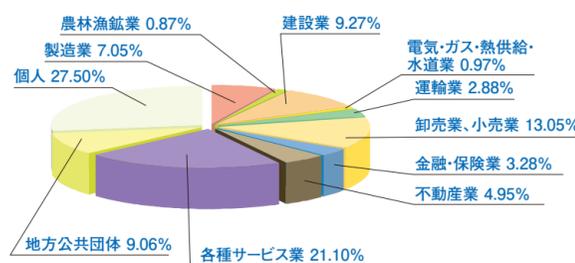
日本海しんきんは、地域金融機関としてお客様からお預かりした資金を、地元の皆様に幅広くご利用いただいています。また、特定の業種やお客様に偏ることのないように留意するとともに、小口多数取引の推進に努め、貸出金資産の健全性を維持、向上していきたいと考えています。

業種別残高構成比では、個人が27.50%で最も多くなっています。

●貸出金残高の推移 (単位:百万円)



●貸出金業種別構成比(平成22年9月末)



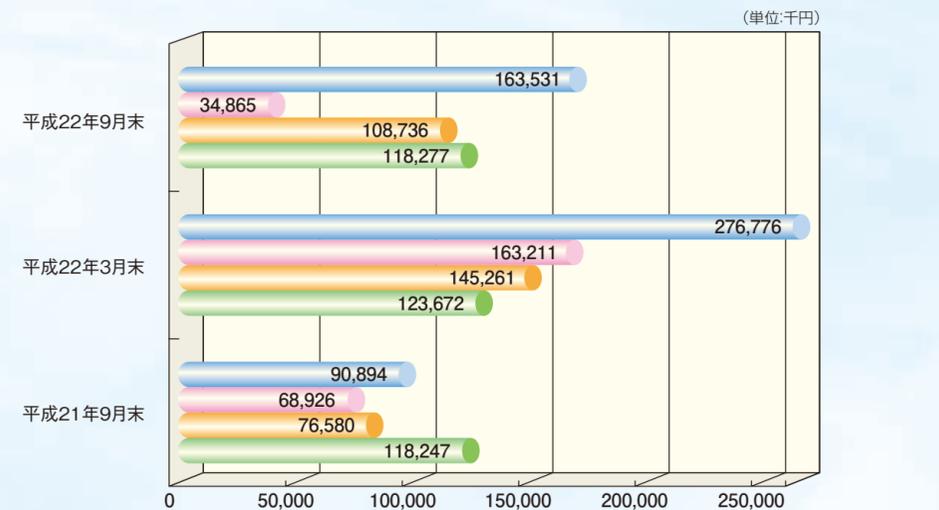
(単位:百万円)

日本標準産業分類	平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末	貸出金業種別構成比の分類
製造業	4,202	3,938	3,420	製造業
農業、林業	85	67	59	農林漁業
漁業	262	234	247	農林漁業
鉱業、採石業、採石採取業	134	125	114	製造業
建設業	4,596	4,738	4,497	建設業
電気・ガス・熱供給・水道業	604	511	473	電気・ガス・熱供給・水道業
情報通信業	11	3	1	情報通信業
運輸業、郵便業	1,478	1,412	1,397	運輸業
卸売業、小売業	6,853	6,556	6,329	卸売業、小売業
金融業、保険業	1,600	1,593	1,591	金融・保険業
不動産業	2,252	2,385	2,399	不動産業
物品賃貸業	577	509	249	各種サービス
情報・通信・コンピュータ	358	318	309	各種サービス
宿泊業	2,021	2,078	1,996	各種サービス
飲食業	625	630	630	各種サービス
生活関連サービス業、娯楽業	1,625	1,499	1,404	各種サービス
教育、学習支援業	1,565	1,678	1,508	各種サービス
医療、福祉	2,128	2,223	2,574	各種サービス
その他のサービス	1,446	1,782	1,564	各種サービス
小計	32,432	32,288	30,770	小計
地方公共団体	3,966	4,845	4,396	地方公共団体
個人(世帯・個人・個人)	13,957	13,726	13,336	個人
合計	50,357	50,860	48,503	合計

(注)業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

III 損益の状況

平成22年9月末は、業務純益163,531千円、経常利益108,736千円、当期純利益118,277千円と安定した収益をあげております。



※「業務純益」および「コア業務純益」は決算速報ベースで記載しております。
※信用金庫においては中間決算を義務づけられておりません。
※平成21年9月末および平成22年9月末は期初から6ヶ月間の実績値です。

IV 自己資本比率について

自己資本比率とは、金融機関が保有する資産に対する自己資本の割合をいいます。金融機関の健全性・安全性といった基礎体力を見るうえで、代表的かつ重要な指標となっています。

日本海しんきんの自己資本比率は11.53%と前年同月比0.77ポイント上昇し、国内基準である4%を大幅に上回っております。



項目		平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末
自己資本額	基本的項目(Tier1)	4,111	4,093	4,212
	補完的項目(Tier2)	253	240	241
	計(A)	4,364	4,334	4,454
リスク・アセット	オン・バランス項目	36,397	34,555	34,757
	オフ・バランス取引等項目	500	477	384
	オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	3,634	3,488	3,488
	計(B)	40,532	38,521	38,629
自己資本比率	(A)/(B)×100	10.76%	11.25%	11.53%

注:自己資本比率規制の一部を弾力化する特例(平成20年金融庁告示第79号)に基づき、「その他有価証券の評価差損」を基本的項目から控除せずに自己資本比率を算出することになっておりますが、平成21年9月末、平成22年3月末、平成22年9月末は「その他有価証券の評価差損」はございません。

V 金利リスクに関する事項

銀行勘定における金利リスクは、金融機関の保有する資産・負債のうち、市場金利に影響を受けるもの(例:貸出金・有価証券・預け金・預金・積金等)について、金利変動により発生するリスク量を見るものです。当金庫の平成22年9月末の金利リスク量は、過去5年間の金利変動データに基づき統計処理(99%タイル値)によって求められた金利変動幅を使用した場合、1,467百万円となりました。

なお、要求払預金(普通預金、当座預金等)の金利リスク量は、明確な金利改定間隔がありません。お客様の要求によって随時払い出される要求払預金のうち、引き出されることなく長期間金融機関に滞留する預金をコア預金と定義し、当金庫では、要求払預金の50%相当額を期間帯「1年超3年以内(平均2.5年)」に全額置き、リスク量を算定しています。

	平成21年9月末	平成22年3月末	平成22年9月末
金利ショックに対する損益・経済価値の増減額	1,233	1,269	1,467

VI 有価証券の時価情報

●売買目的有価証券

該当ございません。

●満期保有目的の債券

	種 類	平成22年9月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が 貸借対照表計上額を 超えるもの	国 債	—	—	—
	地 方 債	299	306	6
	社 債	150	155	5
	そ の 他	—	—	—
	小 計	449	462	12
時価が 貸借対照表計上額を 超えないもの	国 債	—	—	—
	地 方 債	93	88	△ 5
	社 債	—	—	—
	そ の 他	400	363	△ 36
	小 計	493	451	△ 41
合 計	943	913	△ 29	

(注) 1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

●子会社・子法人等株式および関連法人等株式

該当ございません。

●その他有価証券

	種 類	平成22年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を 超えるもの	株 式	28	27	0
	債 券	15,592	15,231	360
	国 債	4,956	4,837	119
	地 方 債	202	199	3
	社 債	10,433	10,195	238
貸借対照表計上額が 取得原価を 超えないもの	そ の 他	1,418	1,390	27
	小 計	17,038	16,649	389
	株 式	50	55	△ 4
	債 券	489	500	△ 10
	国 債	99	100	△ 0
合 計	地 方 債	—	—	—
	社 債	390	400	△ 9
	そ の 他	1,077	1,273	△ 195
	小 計	1,618	1,828	△ 210
	小 計	18,656	18,478	178

(注) 1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

●時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

	平成22年9月末	
	非 上 場 株 式	貸借対照表計上額
非 上 場 株 式	48	
組 合 出 資 金	27	
合 計	76	

●金銭の信託

該当ございません。

●第102条第1項第5号に掲げる取引

該当ございません。

<ご参考>

●売買目的有価証券

該当ございません。

●満期保有目的の債券

	種 類	平成22年3月末		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が 貸借対照表計上額を 超えるもの	国 債	—	—	—
	地 方 債	299	305	5
	社 債	150	155	5
	そ の 他	—	—	—
	小 計	449	460	10
時価が 貸借対照表計上額を 超えないもの	国 債	—	—	—
	地 方 債	94	87	△ 7
	社 債	—	—	—
	そ の 他	1,000	918	△ 81
	小 計	1,094	1,005	△ 88
合 計	1,544	1,466	△ 78	

(注) 1.時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

●子会社・子法人等株式および関連法人等株式

該当ございません。

●その他有価証券

	種 類	平成22年3月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が 取得原価を 超えるもの	株 式	36	32	4
	債 券	12,444	12,198	245
	国 債	4,165	4,087	77
	地 方 債	303	299	4
	社 債	7,975	7,812	163
貸借対照表計上額が 取得原価を 超えないもの	そ の 他	1,050	1,035	15
	小 計	13,531	13,267	264
	株 式	14	14	△ 0
	債 券	3,892	3,917	△ 25
	国 債	1,795	1,801	△ 5
合 計	地 方 債	—	—	—
	社 債	2,096	2,116	△ 19
	そ の 他	1,442	1,617	△ 175
	小 計	5,348	5,549	△ 201
	小 計	18,880	18,817	63

(注) 1.貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
2.上記の「その他」は、外国証券および投資信託等です。
3.時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表に含めておりません。

●時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

	平成22年3月末	
	非 上 場 株 式	貸借対照表計上額
非 上 場 株 式	48	
組 合 出 資 金	17	
合 計	66	

●金銭の信託

該当ございません。

●第102条第1項第5号に掲げる取引

該当ございません。

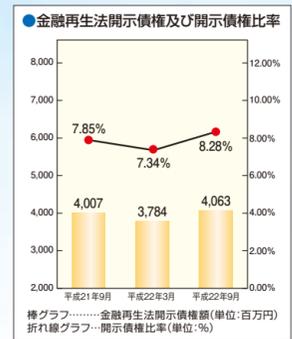
VII 不良債権への取り組み状況について

日本海しんきんは、毎期「金融検査マニュアル」等に基づき、厳格な自己査定を実施し、積極的な不良債権処理を行っております。不良債権に対する保全には貸倒引当金を計上する等万全を期しております。なお、9月は仮決算ということで仮自己査定を行っております。

●金融再生法開示債権及び同債権に対する保全状況

		(単位:百万円)					
		開示残高(a)	保全額(b)	担保・保証等による回収見込額(c)	貸倒引当金(d)	保全率(b)/(a)	引当率(d)/(a-c)
①破産更生債権及びこれらに準ずる債権	H22年3月	2,099	2,099	850	1,249	100.00%	100.00%
	H22年9月	2,145	2,145	880	1,265	100.00%	100.00%
②危険債権	H22年3月	1,619	1,407	913	494	86.91%	69.97%
	H22年9月	1,826	1,606	1,092	514	87.95%	70.03%
③要管理債権	H22年3月	64	39	22	16	60.94%	38.10%
	H22年9月	90	85	62	22	94.44%	78.57%
④小計(①+②+③)	H22年3月	3,784	3,547	1,787	1,759	93.74%	88.08%
	H22年9月	4,063	3,837	2,035	1,802	94.44%	88.86%
⑤正常債権	H22年3月	47,726					
	H22年9月	44,988					
⑥合計(④+⑤)	H22年3月	51,511					
	H22年9月	49,051					

注) 1「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3「要管理債権」とは、「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、上記以外の債権をいいます。
5「金融再生法上の不良債権」における「貸倒引当金」には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。



VIII 地域貢献等

日本海しんきんビジネススクラブ「新入社員研修」

毎年、新入社員を対象に研修を行っております。



江の川祭り参加

地域行事にも積極的に参加しております。



後継経営者育成塾「せがれ塾」

地域企業との継続的な関係構築のため、若手経営者に後継者としての知識・見識を勉強していただくため、せがれ塾を開催しております。



日本列島クリーン大作戦参加

豊かな海を守るため、毎年役員が参加しております。



事業所の名称および所在地

店 舗 一 覧 (平成22年10月末現在)

●本 店	浜田市殿町83番地1	TEL 0855-22-1850
●西 支 店	浜田市京町58番地	TEL 0855-22-0358
●東 支 店	浜田市朝日町1550番地	TEL 0855-22-0357
●長 浜 支 店	浜田市長浜町1528番地2	TEL 0855-27-0305
●駅 前 支 店	浜田市浅井町1583番地	TEL 0855-22-3700
●三 隅 支 店	浜田市三隅町三隅1373番地	TEL 0855-32-2500
●旭 町 支 店	浜田市旭町今市365番地3	TEL 0855-45-1313
●益 田 支 店	益田市あけぼの本町10番地3	TEL 0856-23-3456
●長 沢 支 店	浜田市浅沢町3036番地	TEL 0855-22-4180
●都 野 津 支 店	江津市都野津町2280番地	TEL 0855-53-0306
●浅 利 支 店	江津市浅利町78番地1	TEL 0855-55-1090
●国 府 支 店	浜田市下府町1671番地3	TEL 0855-28-0205
●江 津 支 店	江津市嘉久志町2305番地9	TEL 0855-52-2620

●はサンデーバンキング実施店(土、日、祝日ATM稼働)

店外ATMコーナー(平成22年10月末現在)

●ゆめタウン浜田店出張所	●シティバルク浜田出張所	●ジュンテンドー江津出張所
●浜田市役所出張所	●プリル出張所	●済生会江津総合病院出張所
●新町出張所	●周布出張所	●グリーンモール出張所
●笠柄出張所	●益田サティ出張所	●はサンデーバンキング実施店(土、日、祝日ATM稼働)



〒697-0027 鳥根県浜田市殿町83番地1
TEL (0855) 22-1851 FAX (0855) 22-7858

ホームページも開設しておりますので、ぜひご覧ください。 URL: <http://www.shinkin.co.jp/nihonkai/>

※本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切り捨てております。また、本資料に掲載する計数は、監査法人の監査を受けておりません。